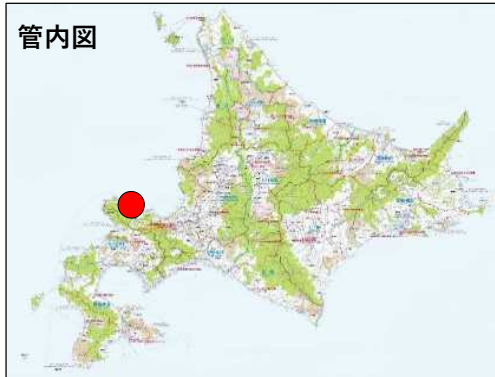
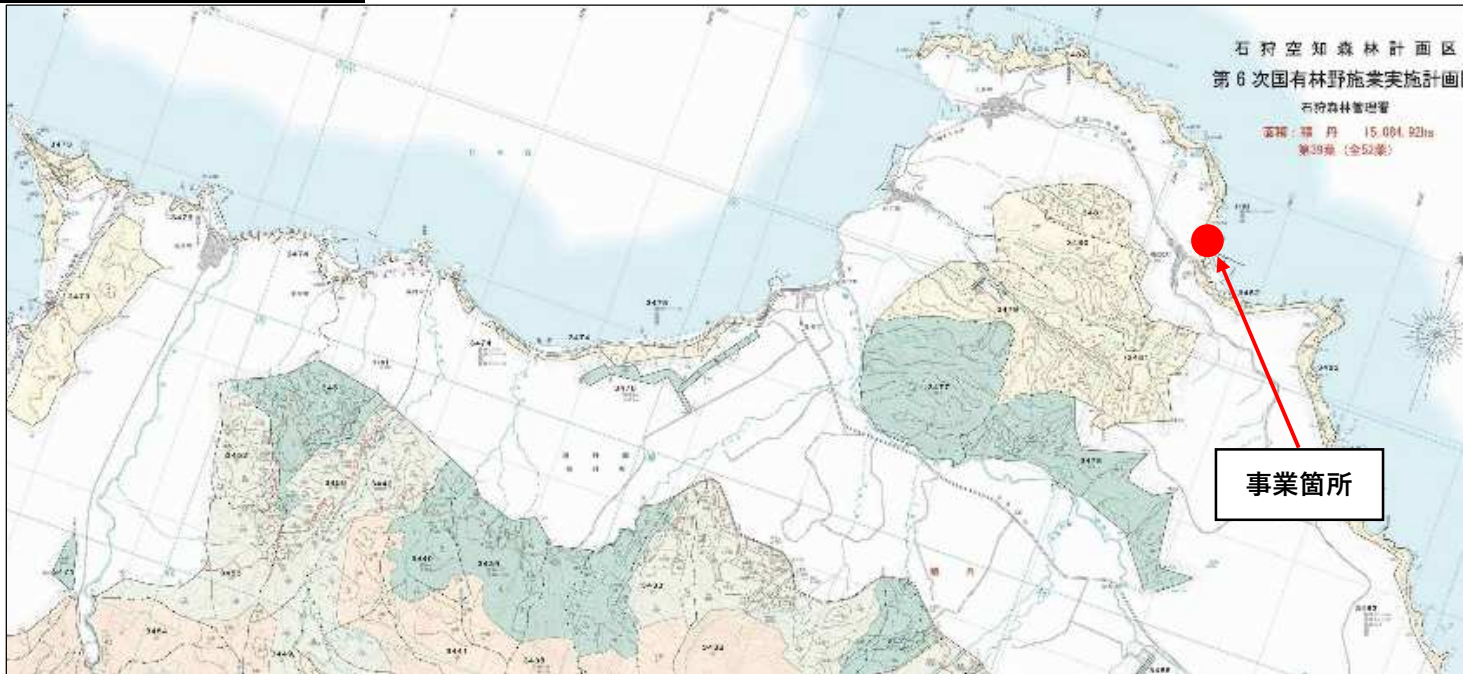


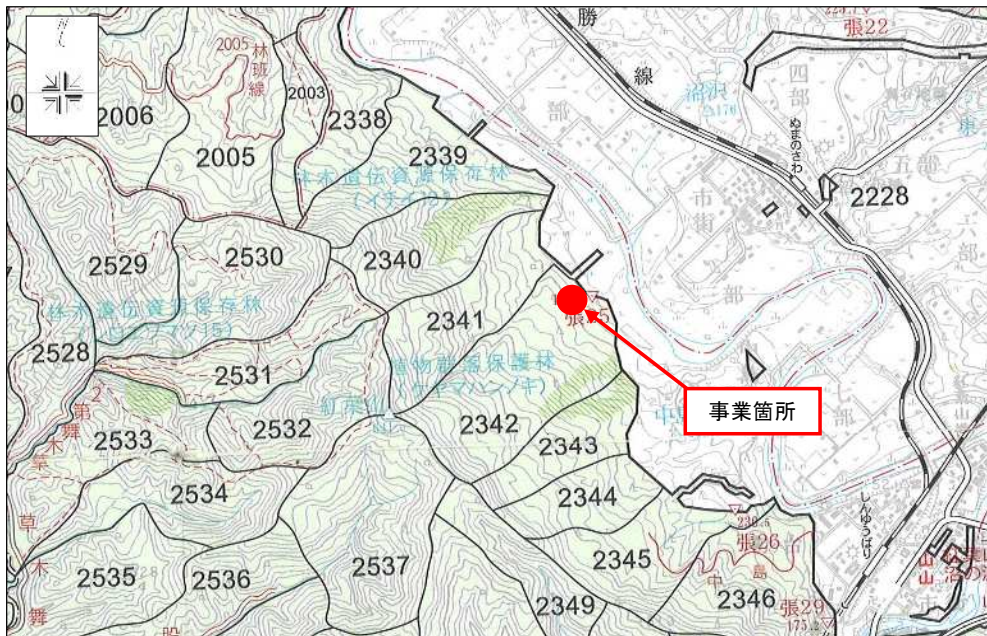
地 区 概 要 表

事業名		復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和7年度（1年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	幌武意地区 （ほろむいちく） （北海道）
事業目的	本該箇所は積丹町幌武意地区に位置し、昭和46年から治山事業を実施し、直下の町道及び事業所等への雪崩被害等を抑止してきた箇所である。 平成30年度に実施した治山施設点検において、雪崩予防柵の腐食、基礎部の侵食による施設倒壊の恐れなど、経年劣化による損傷及び機能低下が確認された。 このまま放置した場合、施設の倒壊等により直下にある町道及び事業所等へ被害を与える恐れがある。 このため本事業により、既設施設の更新（新設）を図り、町道及び事業所等への被害を防止するため、山腹工を計画したものである。				事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署
					管内図 	
主な事業内容		山腹工 0.46ha				
主な保全対象		町道 事業所 2箇所				
総事業費		75,000千円				
位置図		縮尺 1：20,000				
 石狩空知森林計画区 第6次国有林野施業実施計画図 石狩森林管理署 面積：積丹 15,084.92ha 第39巻（全52巻） 事業箇所						

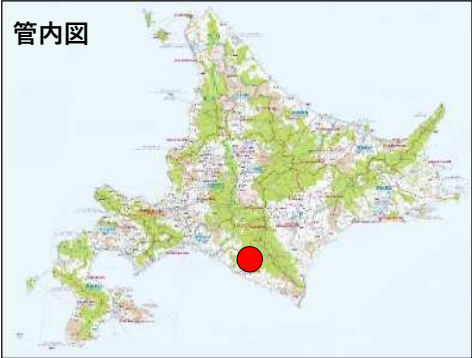
地 区 概 要 表

事業名		復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和7～8年度（2年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	薄別川 （うすべつがわ） （北海道）
事業目的	本地区は札幌市の南西、定山溪温泉から中山峠方向へ約8.5km地点に位置する、石狩森林管理署2066林班の急傾斜地である。 平成12年に大規模な地すべりが発生し、集水井工等の施工を行い抑止を図った箇所である。 近年、施設点検を実施したところ、抑止工の一部に変状や経年劣化が確認されたことから、地すべり観測を行った結果、法面の数カ所において、亀裂や崩壊の発生も確認された。 このまま放置した場合、既設の地すべり対策工の更なる変状や、下流にある国道（無意根大橋）に影響を与える恐れがあることから、本事業を計画したものである。				事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署
					管内図 	
主な事業内容		アンカー工、排土工ほか				
主な保全対象		国道				
総事業費		500,000千円				
位置図		縮尺 1：20,000				
						

地 区 概 要 表

事業名		復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和7年度～令和8年度（2年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	山本左の沢 （やまもとひだりのさわ） （北海道）
事業目的	本箇所は夕張市沼ノ沢地区に位置する空知森林管理署2342林班内にある山本左の沢である。 平成30年9月6日に発生した胆振東部を震源とする地震により溪岸斜面や山腹（崩壊）面から大量の土砂が溪床内に流入、既設ダムが過剰堆積状態となりその後の降雨により流出し、下流の農地（水田）、市道、灌漑用水路に被害を与えた。 溪床内には依然として土砂が堆積しており、今後の降雨、融雪等により再び流出し被害を与える恐れがあることから、本事業により土砂流出を防止しするため溪間工を計画したものである。				事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署
					管内図 	
主な事業内容		溪間工2基				
主な保全対象		農地（水田） 市道				
総事業費		60,000千円				
位置図	縮尺	1：50,000				
						

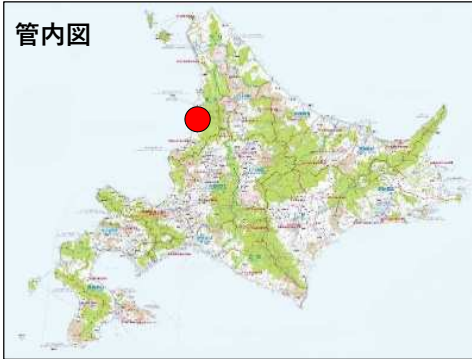
地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和7年度～令和11年度（5年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	オケルンベ沢 （おけるんべさわ） （北海道）
事業目的	本箇所は、新冠郡新冠町の新冠川上流に位置する渓流で、直下には林道及び北海道電力(株)所管の岩清水ダム（発電量15,000kw）が存在している。 渓流内には不安定土砂等が大量に堆積しており、融雪期及び大雨時には流出し、度々林道に被害を与えている。 この状況が続けば、下流側にある岩清水ダムにも被害を与える恐れがあり、また林道寸断等が発生した場合、上流側にある、新冠ダム（発電量200,000kw）、下新冠ダム（発電20,000kw）の維持管理等に支障を来し、地域の送電に影響を及ぼす恐れもある。 本事業により土砂の流出を抑制し、保全対象への被害防止を図るため、渓間工を計画したものである。				事業実施主体	北海道森林管理局 日高南部森林管理署
					管内図 	
主な事業内容		渓間工7基				
主な保全対象		林道100m、岩清水ダム（発電施設）				
総事業費		323,000千円				
位置図	縮尺	1：50,000				
						

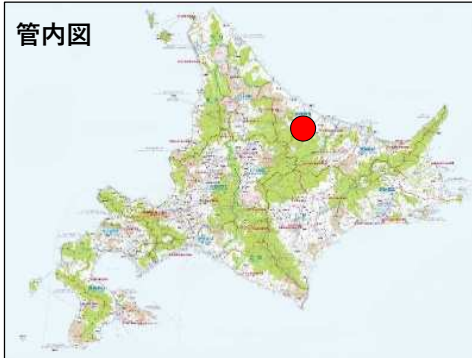
地 区 概 要 表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和7年度～令和9年度（3年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		曙 （あけぼの） （北海道）	
事業目的	本箇所は、二級河川築別川流域に位置する留萌北部森林管理署2134林班内の溪流で、下流には人家、農地等がある。 令和5年8月5日の降雨（102mm/日）により山腹崩壊が発生し、溪流内から直下の農地に土砂が流出する被害を与えた。 溪床には依然として不安定土砂が堆積しており、今後の降雨等により再び被害が発生する恐れがあることから、本事業により溪床の安定・土砂流出防止を図り、地域住民の生活の安全・安心を確保するため、溪間工を計画したものである。							事業実施主体		北海道森林管理局 留萌北部森林管理署	
								管内図 			
主な事業内容		溪間工 1基									
主な保全対象		人家 農地 道道									
総事業費		60,000千円									
位置図		縮尺		1：50,000							
											

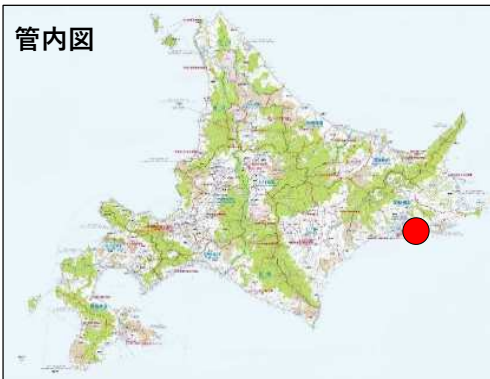
地 区 概 要 表

事業名		復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和7～8年度（2年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	中幌糠沢 （なかほろぬかさわ） （北海道）
事業目的	本箇所は留萌市東部に位置する溪流である。 溪流内には既設コンクリート堰堤が5基設置されているが、近年の豪雨等の影響により溪岸侵食が多数発生し、不安定土砂が過剰堆積状態となり、S37年施工のコンクリート堰堤において、経年劣化も相まって堤体の一部が倒壊し治山施設としての機能を失っている状態となっている。 このまま放置した場合、今後の降雨等により堆積土砂が流出し、併用林道（市道）に被害を与える恐れがあるほか、既設堰堤への更なる影響も懸念される。 このため、本事業により併用林道の保全、既設堰堤の倒壊等を防止するため、溪間工を計画したものである。				事業実施主体	北海道森林管理局 留萌南部森林管理署
					管内図 	
主な保全対象		溪間工 2 基				
主な保全対象		併用林道（市道）				
総事業費		70,000千円				
位置図		縮尺 1：50,000				
						

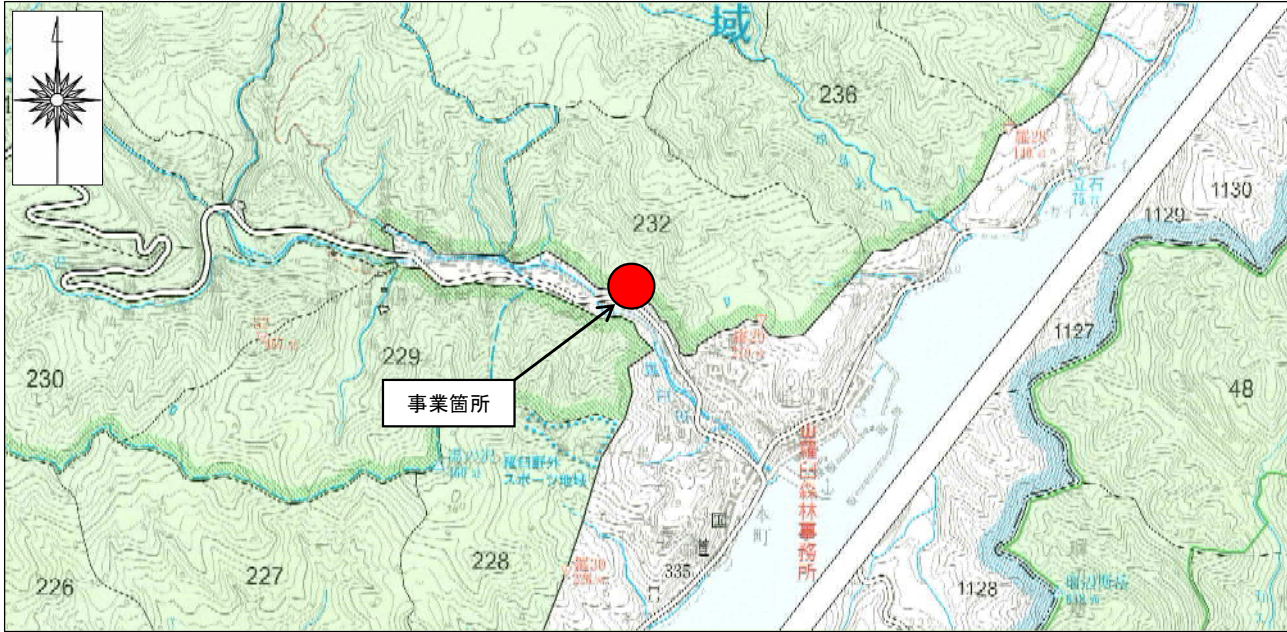
地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和4年度～令和9年度（6年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	1067林班 （1067りんぱん） （北海道）
事業 目 的	本箇所は、紋別市上渚滑町中立牛東部に位置し、下流に牧場及び牧草地、道道遠軽雄武線が存在し、平成10年9月の豪雨により土砂及び流木が流出し牧草地に被害を与えた箇所である。 溪流内には現在も山腹崩壊、溪岸侵食に伴う不安定土砂や倒木が堆積している状態であり、今後の豪雨等により流出することで再び下流に被害を及ぼす恐れがある。 このため、本事業により土砂及び倒木の流出を防止し、下流の保全を図るため溪間工の整備を計画したものである。 なお、事業の実行に伴い詳細調査を行った結果、事業の内容及び総事業費等に変更が生じ、B/Cの確認が必要となったことから、令和3年度に行った評価について再評価を行う。				事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署 西紋別支署
					管内図 	
主な事業内容		溪間工 1基				
主な保全対象		牧場及び牧草地、道道				
総事業費		80,000千円				
位置図		縮尺 1：50,000				
						

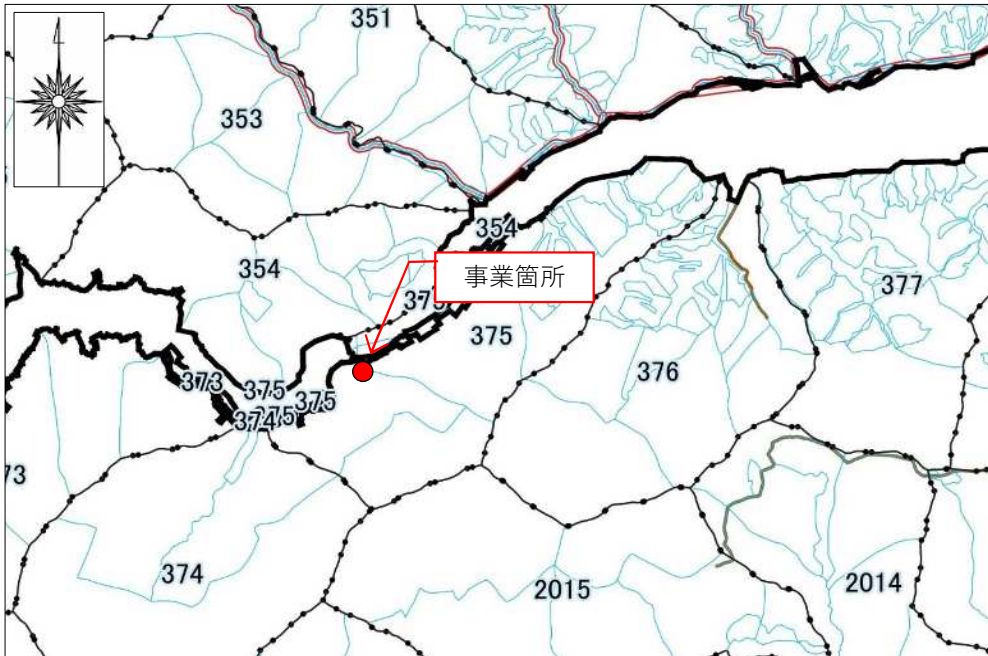
地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和5年度～令和7年度（3年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	知方学（浅井の沢） （ちっぱまない（あさいのさわ）） （北海道）
事業目的	本箇所は、釧路町知方学地区に位置する溪流である。 平成28年の台風時には大きな被害を受けた地区でもあり、溪流内には山腹崩壊地等が確認され、その崩壊土砂や流木が不安定な状態で堆積している状況で、直下には人家及び漁場につながる町道があり、住民の生活道路として利用されている。 今後の降雨により山腹崩壊の拡大及び不安定土砂等が流出し、町道、人家及び漁場に被害を与える恐れがあり、本事業により崩壊地の拡大及び土砂等の流出を抑制し、下流域の保全を図るため溪間工を計画したものである。 なお、事業実行に伴い、詳細調査を行った結果、事業期間及び総事業費に変更が生じたことから、令和4年度に実施した評価について、再評価を行う。				事業実施主体	北海道森林管理局 根釧西部森林管理署
					管内図	
						
主な事業内容		溪間工 2基				
主な保全対象		町道 人家 漁場等				
総事業費		85,130千円				
位置図		縮尺 1：50,000				

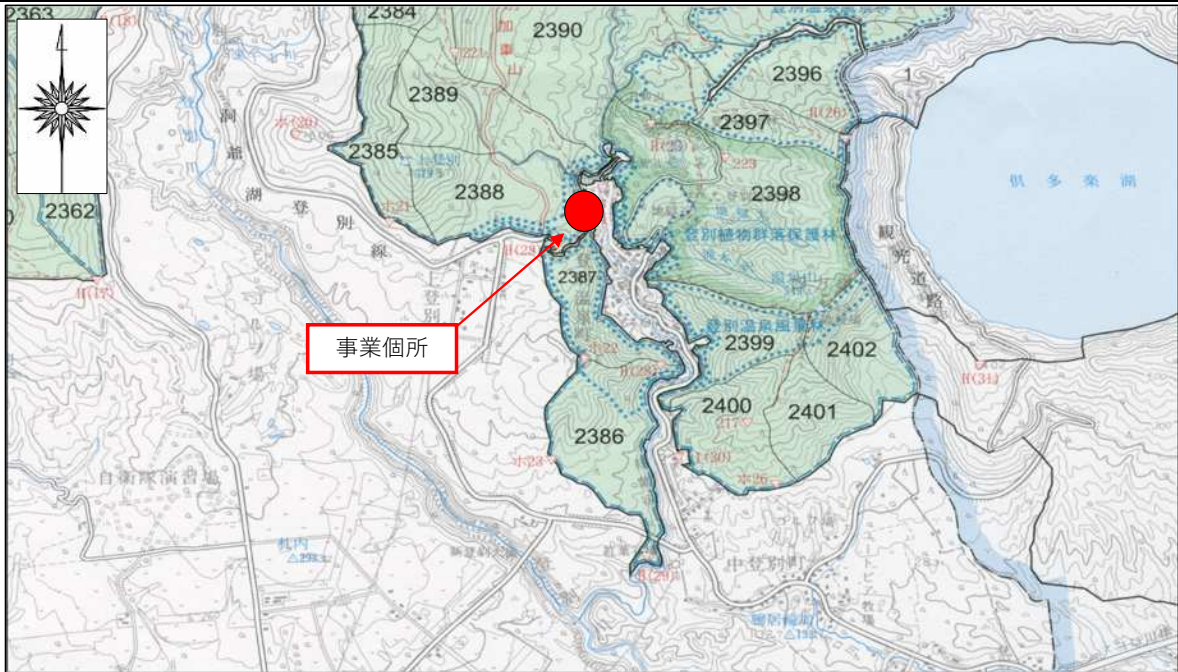
地 区 概 要 表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和7年度～令和11年度（5年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		栄町 （さかえまち） （北海道）	
事業目的	本箇所は目梨郡羅臼町に位置し、令和6年1月25日の暴風雪により山腹面から雪崩が発生し溪流沿いに流出、下流に駐車していた車両を押し流すとともに国道334号に流出する被害を与え、これにより国道334号は一時通行止めとなった。 溪流上部の山腹斜面には雪崩の発生原因と推定される未立木地が存在するとともに、溪流内には不安定土砂が堆積していることから、今後も積雪により再度雪崩が発生し、下流域へ被害を及ぼす恐れがある。 このため、本事業により雪崩の発生と不安定土砂の流出を防止し、下流の国道等の保全を図るため山腹工及び溪間工を計画したものである。							事業実施主体		北海道森林管理局 根釧東部森林管理署	
								管内図 			
主な事業内容		山腹工1.30ha、溪間工1基									
主な保全対象		国道、人家									
総事業費		250,000千円									
位置図		縮尺		1：50,000							
											

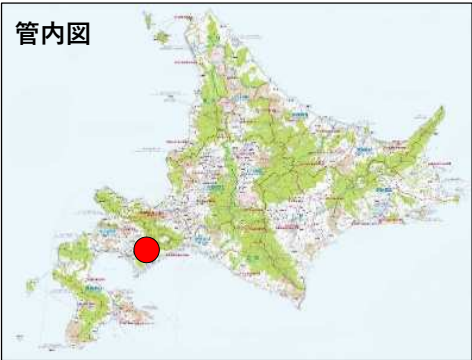
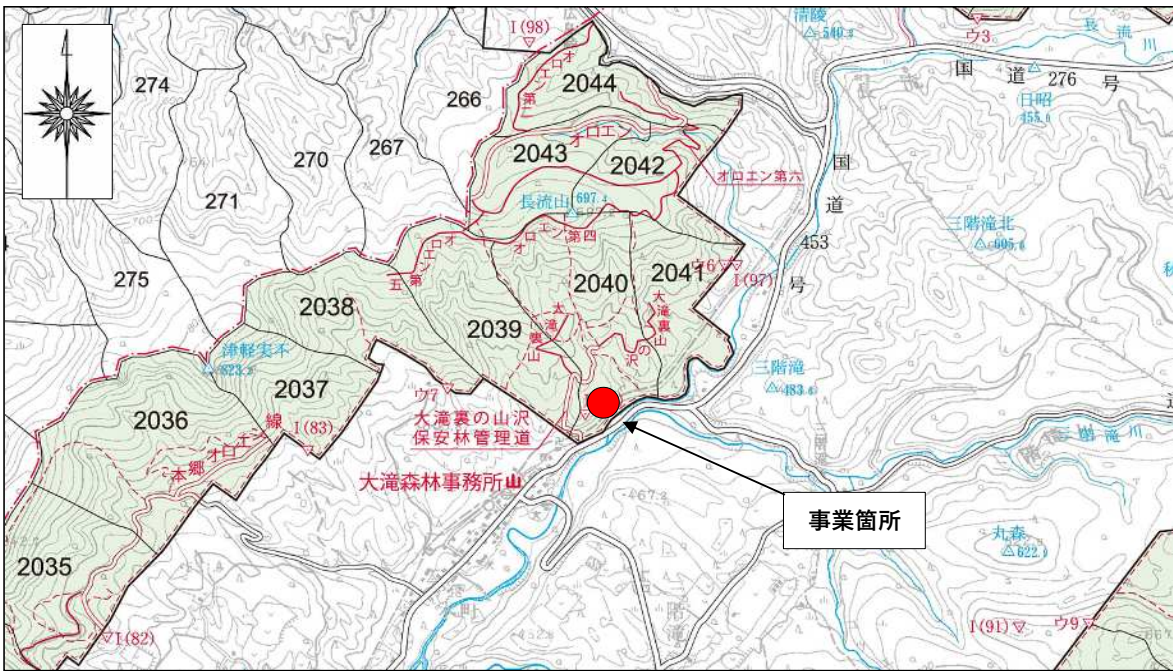
地 区 概 要 表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和7年度～令和8年度（2年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		イの沢 （いのさわ） （北海道）		
事業目的	本箇所は、河西郡中札内村西部に位置し、道道を横断し札内川に至る溪流である。 本溪流では、溪床侵食が進みV字谷を形成し溪床勾配も急であるため、崩壊発生及び溪床の土砂移動により豪雨時には、土石流が到達することが予想される。 本流域は、日高山脈襟裳十勝国立公園として指定され、札内川ダム、札内川園地、札内川ヒュッテ等があり、地元からも観光資源として重要な箇所であるため、土砂流出防止対策推進の要望が出されている。 このため、本事業により溪岸侵食等の防止及び土砂流出の抑制をし、下流域の保全を図るため、溪間工を計画したものである。								事業実施主体		北海道森林管理局 十勝西部森林管理署	
									管内図 			
主な事業内容		溪間工 1基										
主な保全対象		道道50m										
総事業費		90,000千円										
位置図		縮尺		1：50,000								
												

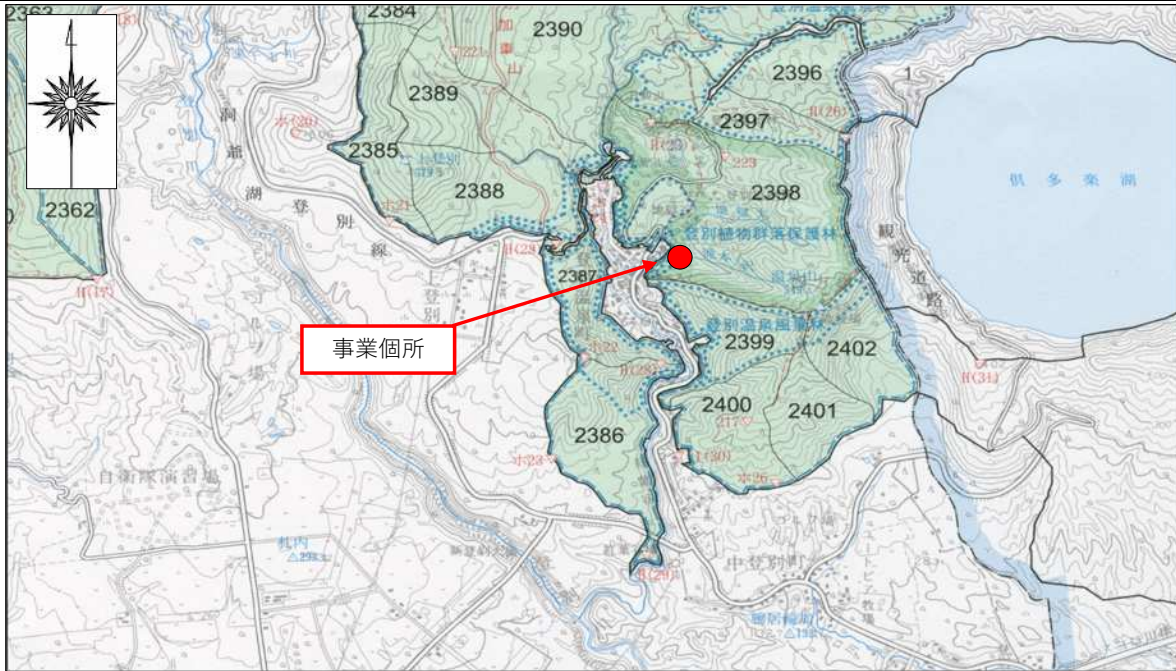
地 区 概 要 表

事業名		復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和7年度～令和8年度（2年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	浄水場の沢 （じょうすいじょうのさわ） （北海道）
事業目的	本計画箇所は、登別市北東にある登別温泉町に位置しており、平成9年に山腹崩壊地の復旧と落石等の防止のため落石防止金網が設置されたが、経年劣化が著しくその機能低下のため、市道への落下物等が登別市より報告されている。 このまま放置した場合、今後の降雨等により施設の劣化・山腹面の侵食・崩壊が進行し、直下にある市道や公共施設（浄水場）に被害を及ぼす恐れがあるため、斜面の安定と土砂等の流出防止を図り、地域住民の安全・安心を早期に確保するため、山腹工を計画したものである。				事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
					管内図 	
主な事業内容		山腹工0.51ha				
主な保全対象		市道 公共施設（浄水場）				
総事業費		80,000千円				
位置図		縮尺 1：50,000				
						

地 区 概 要 表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和7年度～令和8年度（2年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		大滝裏山の沢 （おおたきうらやまのさわ） （北海道）		
事業目的	本箇所は伊達市大滝区市街地から国道453号線を北へ約0.3kmに位置する。 平成24年の融雪に伴う山腹崩壊により既設の水路工が埋没し、あふれた流水が山腹斜面を侵食している状況にあったが、平成28年の台風や降雨等の影響で、山腹崩壊に更なる拡大があった。 本箇所の直下には流域治水プロジェクトにおいて連携した取り組みを推進している二級河川、長流川が流れており、今後の降雨等により侵食・崩壊が進行すると、当該河川及び国道に土砂等が流出し、被害を及ぼす恐れがある。 このため、山腹斜面の安定と土砂流出防止を図り、地域住民の安全・安心を確保するため、山腹工を計画したものである。								事業実施主体		北海道森林管理局 後志森林管理署	
									管内図 			
主な事業内容		山腹工0.61ha										
主な保全対象		国道										
総事業費		37,000千円										
位置図		縮尺		1：50,000								
												

地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和7年度～令和9年度（3年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		登別温泉（滝本の沢） のぼりべつおんせん（たきもとのさわ） （北海道）		
事業目的	本箇所は、登別市北東にある登別温泉町に位置しており、令和5年10月の豪雨により、滝本の沢からの泥水が国有林内を通過し、直下にある水路に流れ込み、その水路をオーバーフローして隣接する宿泊施設へ流れ込む被害を与えた。 溪床内には現在も不安定土砂及び流木が堆積している状況であり、今後の豪雨等により流出のおそれがある。 このため、本事業により直下の宿泊施設及び地域住民の安全・安心を早期に確保するため、溪間工を計画したものである。								事業実施主体		北海道森林管理局 後志森林管理署	
									管内図 			
主な事業内容		溪間工 1基										
主な保全対象		宿泊施設ほか										
総事業費		100,000千円										
位置図		縮尺		1：50,000								
												

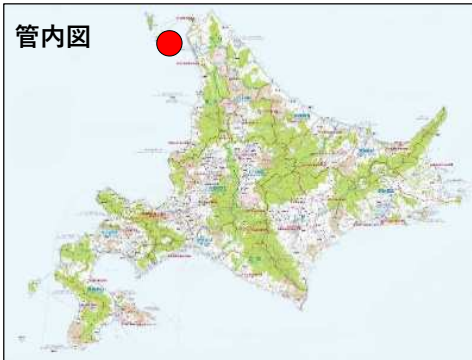
地 区 概 要 表

事業名		保安林総合改良整備(国有林)		事業計画期間		令和7年度（1年間）		事業実施地区名 (都道府県名)		花川地区 (はなかわちく) (北海道)		
事業目的	本計画箇所は、石狩市の北西に位置する防風保安林である。 本保安林は大正11年に指定され、周辺地域を風害から保全するため、治山事業により公益的機能の維持・強化が図られてきた箇所である。 保安林内は高木化及び老齢化が進行しており、以前は農耕地中心の地区であったが、宅地等の造成が著しく、人家及び道路が接するような周辺環境の変化もあり、保安林内からの倒木等の危険性が懸念されている。 このことから、被害発生リスクの軽減や林内環境の維持改良を図るため、倒木等の恐れがある危険木の事前伐採・除去等を行い、地域住民の安全・安心を早期に確保するため、保安林総合改良事業を計画したものである。								事業実施主体		北海道森林管理局 石狩森林管理署	
									管内図 			
	主な事業内容		危険木処理 16.47ha									
	主な保全対象		-									
総事業費		5、000千円										
位置図		縮尺		1：20，000								
												

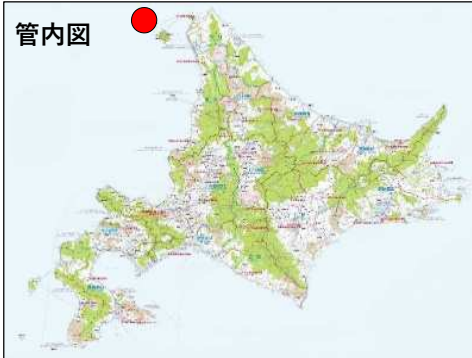
地 区 概 要 表

事業名	保安林総合改良事業（国有林）	事業計画期間	令和7年度（１年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	芦別 （あしべつ） （北海道）
事業目的	本計画地は、空知川の支流域に位置する人工林である。 林内は植栽木と侵入木の混在によりうっ閉し、蔓類が複雑に絡み合い植栽木の生育が低下している状況である。 このまま放置した場合、植栽木の生育はもとより下層植生の生育を更に阻害し、水源涵養機能の低下、表土流出等の恐れがあることから、植栽木及び下層植栽の生育促進を図り、保安林機能の回復・強化を目的として、つる切り・除伐を計画したものである。			事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署
				管内図 	
主な事業内容	つる切・除伐 65.00ha				
主な保全対象					
総事業費	13,300千円				
位置図	縮尺	1：50,000			
					

地 区 概 要 表

事業名		保安林総合改良整備（国有林）		事業計画期間		令和２年度～令和10年度（９年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		利尻 （りしり） （北海道）	
事業目的		本箇所は稚内市から南西に約40Kmの利尻島に位置し、漁業と観光が盛んな地域である。 対象地は水源かん養保安林に指定されているが、沿岸地域ということもあり風等の影響を受け易く、このまま放置状態が続くと保安林機能の低下を招く恐れがあることから、下刈・本数調整伐等を行い保安林機能の回復、強化を図るため整備事業を計画したものである。 なお、事業の実行に伴い詳細調査等を行った結果、事業計画期間に変更が生じる事から、B/Cの確認が必要となったため、令和元年に行った評価について再評価を行う。						事業実施主体		北海道森林管理局 宗谷森林管理署	
								管内図 			
主な事業内容		下刈11.03ha 本数調整伐3.85ha 根踏0.44ha									
主な保全対象											
総事業費		38,400千円									
位置図		縮尺		1：50,000							
											

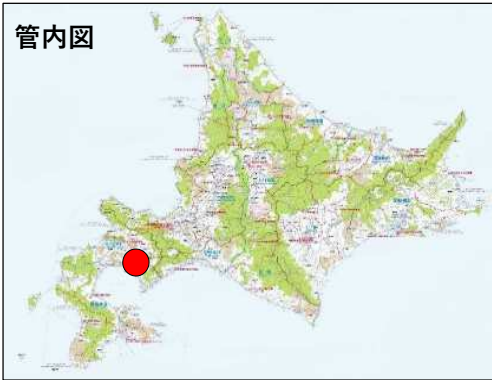
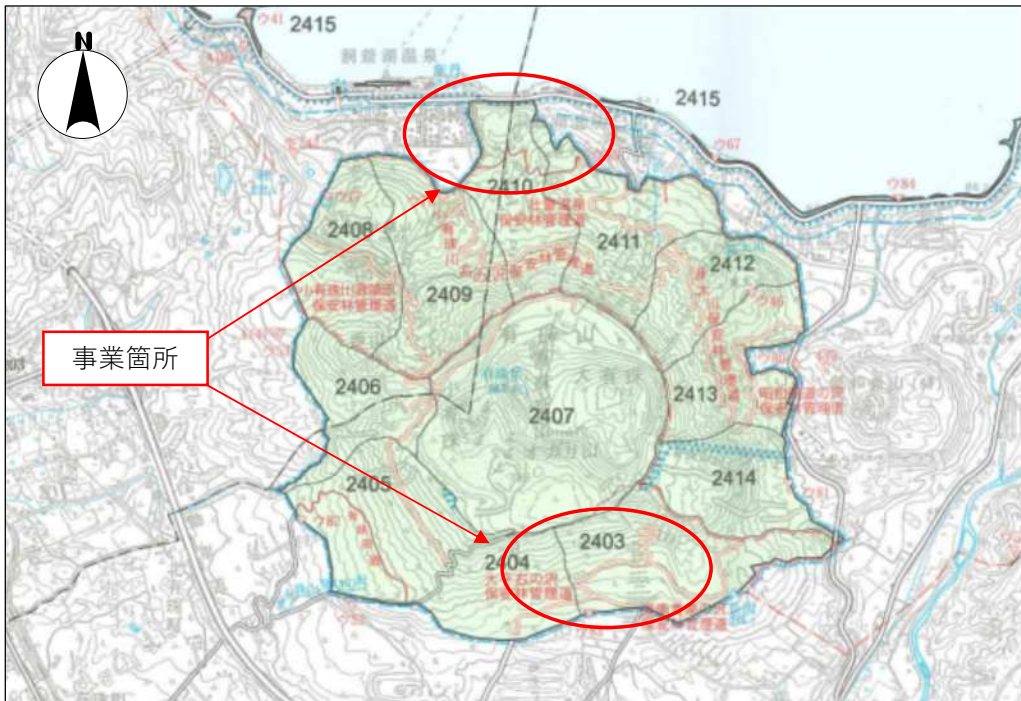
地 区 概 要 表

事業名		保安林総合改良整備（国有林）		事業計画期間		令和2年度～令和10年度（9年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		礼文 （れぶん） （北海道）		
事業目的	本箇所は稚内市の西方約60Km、礼文島に位置し、漁業と観光が盛んな地域であり、水源かん養保安林に指定されている。 事業箇所は四方を海に囲まれた離島のため、強風の影響を受けやすく、未立木地や疎林となっており、このまま放置した場合、保安林機能の低下を招く恐れがある。 このため、保安林機能の発揮、強化を図るため、地拵・植付及び保育を計画したものである。 なお、事業の実行に伴い詳細調査等を行った結果、事業計画期間に変更が生じることから、B/Cの確認が必要となったため、令和元年度に行った評価について再評価を行う。								事業実施主体		北海道森林管理局 宗谷森林管理署	
	管内図 											
	主な事業内容		地拵1.33ha 植付1.33ha 下刈12.30ha									
	主な保全対象											
総事業費		16,500千円										
位置図		縮尺		1：50,000								
 事業箇所												

地 区 概 要 表

事業名		保安林総合改良整備（国有林）		事業計画期間		令和2年度～令和8年度（7年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		猿払 （さるふつ） （北海道）		
事業目的	本地区は猿払村に位置し、オホーツク海に面した漁業・酪農が盛んな地域であり、防風保安林に指定されている。 事業箇所は海岸線に近く、海側からの強い風と潮による影響を受け、未立木地となっており、保安林としての機能を十分に発揮出来ない状況にある。 事業地には農地が隣接しており、防風保安林機能をより発揮させるため、地拵・植付及び保育作業を計画したものである。 なお、事業の実行に伴い詳細調査等を行った結果、事業計画期間に変更が生じる事から、B/Cの確認が必要となったため、令和元年度に行った評価について再評価を行う。								事業実施主体		北海道森林管理局 宗谷森林管理署	
									管内図			
主な事業内容		地拵1.35ha 植付1.35ha 下刈12.61ha										
主な保全対象												
総事業費		93,000千円										
位置図		縮尺		1：50,000								

地 区 概 要 表

事業名		保安林総合改良整備（国有林）		事業計画期間		令和6年度～令和11年度（6年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		室蘭（有珠北面、有珠南面） （むろらん（うすきためん、うすみなみめん）） （北海道）			
事業目的		本計画箇所は、伊達市・壮瞥町に跨る有珠山の山腹面に位置する人工林である。 現地の現況は林分密度が高くなっているため光環境が悪化、下層植生の生育を阻んでいる状態で、現状のまま放置した場合、表土の流出、水源涵養機能の低下が懸念され周辺地域に影響を及ぼす恐れがある。 このことから、植栽木の健全な生育を促進し下層植生の侵入を図り、土砂流出保安林の機能を十分発揮させるため本数調整伐を計画したものである。 なお、事業の実行に伴い詳細調査等を行った結果、事業計画期間に変更が生じる事から、B/Cの確認が必要となったため、令和5年度に行った評価について再評価を行う。								事業実施主体		北海道森林管理局 後志森林管理署	
		管内図 											
		主な事業内容		本数調整伐 20.00ha									
		主な保全対象											
総事業費		30,000千円											
位置図		縮尺		1：50,000									
													

地 区 概 要 表

事業名		防災林造成（国有林）	事業計画期間	令和7年度～令和9年度（3年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	メークマ地区 （めーくまちく） （北海道）
事業目的	本地区は、稚内市から東に約14km、宗谷湾に面する海岸線に沿った位置にある防風保安林である。 海側には国道、西側隣接地には稚内空港、山側一帯には酪農地が広がっており、トドマツ・アカエゾマツを主体に木本緑化された保安林は、住民の生活環境の改善や漁業・酪農業の発展に大きく貢献している。 植栽木は、既に50年以上経過し順調に生育してはいるものの、厳しい自然環境・気象条件のため、密植により仕立てたことから、現在は樹枝の交錯、下層植生の消滅等が著しい状況である。 このため、植栽木、下層植生の成長を促進し、防風保安林としての機能の発揮・強化を図るため本事業を計画したものである。				事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
					管内図 	
主な事業内容		本数調整伐 5.04ha 植付1.40ha				
主な保全対象						
総事業費		18,000千円				
位置図	縮尺 1：50,000					
						